

勃興ドイツ
の
全貌



特243
794

勃興ドイツの全貌



大阪毎日新聞社編



目 次

發 刊 に 就 て.....	2
勃興ドイツ展覽會觀覽書.....	4
隆 興 時 代 の ド イ ツ.....	5
▶ 興れたドイツの國土 ▶ 隆興されたドイツの資源 ▶ これに反し益々強大強化されてゆく各國の軍備 ▶ マークは暴落し民衆生活は不安の渦に巻込まれた	
ヒ ツ ト ラ ー 起 づ.....	9
▶ 興十字の誕生 ▶ 突進隊の編成 ▶ ナチス政権樹立 ▶ 國民社會主義ドイツ労働黨綱領成立	
再 建 の ド イ ツ.....	13
▶ 總統の権能 ▶ 黨と國家 ▶ 國防軍の編成 ▶ ニュルンベルクの黨大會 ▶ ヒットラーの権能 ▶ 工場分散と標準規格 ▶ ドイツ外交の動向 ▶ ドイツ防軍の増強 ▶ 民間航空 ▶ 防空 ▶ ドイツの國家行政機構 ▶ ドイツ民族協同會 ▶ ヒットラー・ユーゲント ▶ 興洋電報 ▶ 農業生活 ▶ ヒットラー・ユーゲント女子部 ▶ 女子のスポーツ ▶ 勤勞奉仕團 ▶ アルバイツ・チーンストの一日 ▶ アルバイツ・チーンストの朝と午の實態 ▶ 女子勤勞奉仕團 ▶ ナチス婦人指導部の活動 ▶ 結婚と出産獎勵制度 ▶ 種族の純潔 ▶ 働く母の保健施設 ▶ 家庭生活の合理化 ▶ 労働者住宅 ▶ 冬期救濟事業 ▶ 藝術教育 ▶ ドイツの雇用指導政策 ▶ 労働の眞面目 ▶ ドイツ労働協約 ▶ 第一次四ヶ年計劃 ▶ 國有自動車道路の建設 ▶ 「工場陳列場」の組織 ▶ 代用品工業の促進 ▶ 農業政策の革新 ▶ 農業の機械化 ▶ 沼地の開發 ▶ 牧場業 ▶ 眞實派主義 ▶ ドイツの政府制度 ▶ 政府力行團 (K. D. F) ▶ K. D. F. の余暇善用 ▶ K. D. F. の休暇と旅行 ▶ K. D. F. の職場美化 ▶ 世界學生會盟 ▶ ドイツ産業の創造的飛躍	
再 建 より 飛 躍 へ.....	42
▶ 今次大戦に活躍せる新兵隊 ▶ 德國新造勤勞奉仕隊の活動 ▶ P. K 隊の活動	
東 進 ド イ ツ の 車 輪 に 關 づ.....	46

發刊に就て

「磨り盡しドーヴアーよ。……かつて、コルシカの鶴児を長壽せしめたそのドーヴアーの上空まで、新鋭機の汎濫しげく、眼目は羊の毛のごとく置れる。

この巨額を笑顔して、新秩序の井筒を覗かうとしてゐるもの、それはナポレオン以来の英雄、アドルフ・ヒットラーである。海に洪濤の景仰をうけて、ヒットラーの吹く喇叭の響きには、近代兵隊は申すに及ばず、連戦軍馬までが揺ひ立つて、大艦軍の砲車に和するの壯観である。西郷はここに燃料を得て白く光り、その閃々たる光芒の間に、われわれは新しきものの風吹きを感じる。

われわれの視線には、いま尚二十余年前、一敗泥土にまみれたドイツがヴェルサイユ條約によつて屈辱のみに縛られ、鎖獄の中に居詰められた姿が浮ぶ。望望の國賊を擧る危殆思想に魂を奪はれた人々、妖惑翫々として紅粉歌謡を擅する青年、ゲルマン民族は紅よと見えた。しかも兵隊に堪へる勇將のやうに、ドイツはこの危機を凌ぐ。深淵に絳を賣うた婦人は九天を飛いて立つた。豪傑一世に記録したヒットラーが猛烈不敗の救世の狼火をかかげて落盡した成果は、奇麗の形をとつて現はれたのである。

われわれは、われわれの立場を忘れ、無批判にこの西歐の英雄を、陳腐崇拜するものでは勿論ないが、彼と、彼に率ゐられるドイツ民族が、這次歐洲の情にも、吃吃々々として前線を活き裏を平らげた精進には、學ぶべき多くのものがあるに違ひない。かく考へてわが大阪毎日新聞社は、昭和四年の忍舌をつづけつつある敬愛する國民各位に、「勃興ドイツ大展覽會」を提供したのである。

大阪さごう百貨店における展覽會には、専くも李王大臣親王殿下の台覽を尊うするの光榮に浴し、軍國民の諸星大官名士より亦絶大の稱讃を蒙り、會場は八月上旬より九月上旬に至る約一ヶ月の間、觀を便し脚轡を車ねる盛況を呈したことは、主催者の愚説するところである。

ここに、この巨額ある展覽會を記念し、又この展覽會を一覽する機會を惜み尋なかつた人々に、一目瞭然としてドイツの勃興状況を理解せしめるため、展覽會の全部を小冊子に纏め、「勃興ドイツの全貌」として上梓することになった。大方の御覽を切望する。

終りにこの展覽會開催に多大の御助力を蒙つた大阪外皇敎院山本亮氏、御親王殿下大使山崎殿下、元首相近衛公爵殿下はじめ、何かと御後援を賜つた陸軍省、海軍省及び會場設備に努力されたさごう百貨店に紙上より深甚の謝意を表する次第である。

昭和十五年秋九月

大阪毎日新聞社

暗黒時代のドイツ

一九一九年六月廿八日、ヴェルサイユ

條約締結／

戦勝國より課せられたる重壓に國民は
唯屈従あるのみ……

曰く領土の割譲、軍備の制限、保障占
領、條約放棄、剩へ一十億金マークの
賠償金／

希望も慰安もない暗黒の時代来る!!

勃興ドイツ展覽會趣意書

世界はあげて動亂時代に入つた、この動亂の嵐を衝いて新秩序を建設せんとするもの東に日本あり、西にドイツがある。

わが大日本帝國は、万邦無比の皇道精神に則り、八紘一宇の國是によつて、正しい新世界を構成せんとするものである。この根本方針はドイツの指導精神とは何らの相關關係は持たないのである。

然しながら、ドイツが第一次大戰に敗れ外にヴェルサイユ體制の壓迫を蒙り、共産黨の挑発をほしいままにされ、國家崩壊の寸前に達した時に勃然としてここに西方の彗星ヒットラー總統が出現して、彫骨苦肉不死鳥の如くドイツを起ち上らしめた。その事實は、われ等に何を教ふるであらうか即ち、ヒットラー總統の雄爽たる姿が教示する、二十年間のドイツ生々興隆の跡を偲べば、われ等はそこに多くの教示を感得するのである。

われ等はドイツを無條件に崇拜跪敬するものでは断じてない、しかも敢て茲に「勃興ドイツ大展覽會」を、開催した所以のものは、畏き「知識を世界に求め大いに皇基を振起すべし」の大御心を奉戴して、ドイツの勃興の過程を各位とともに具に研究して、他山の石とせんとする趣旨に他ならぬのである。

皇民われ生ける處あり天地の

榮ゆる時にあへらく念へば

展覽會を一覽して、更にかの萬葉歌人の雄渾なる氣魄を想ひ浮べるのは、われ等皇國の民であらねばならない。

暗黒時代のドイツ

一九一九年六月廿八日、ヴェルサイユ

條約締結、

戦勝國より課せられたる重壓に國民は
唯屈従あるのみ……

曰く領土の割譲、軍備の制限、保障占
領、條約破棄、剩へ一十億金マークの
賠償金、

希望も慰安もない暗黒の時代來る!!

勃興ドイツ展覽會趣意書

世界はあげて動亂時代に入つた、この動亂の嵐を拂いて新秩序を建設せんとするもの東に日本あり、西にドイツがある。

わが大日本帝國は、万邦無比の皇道精神に則り、八紘一字の國是によつて、正しい新世界を構成せんとするものである。この根本方針はドイツの指導精神とは何らの相關關係は持たないのである。

然しながら、ドイツが第一次大戰に敗れ外にヴェルサイユ體制の壓迫を蒙り、内に共產黨の挑発をほしいままにされ、國家崩壊の寸前まで押しつめられた時に勃然としてここに西方の彗星ヒットラー總統が出現して、彫骨苦闘不死鳥の如くドイツ國をして起ち上らしめた、その事實は、われ等に何を示唆するであらうか即ち、ヒットラー總統の雄爽たる姿が象徵する、二十年間のドイツ生々興隆の跡を偲べは、われ等はそこに多くの豫き暗示を感得するのである。

われ等はドイツを無條件に崇拜跪敬するものでは斷じてない、しかも敢て茲に「勃興ドイツ大展覽會」を、開催した所以のものは、畏き「知識を世界に求め大いに皇基を振起すべし」の大御心を奉戴して、ドイツの勃興の過程を各位とともに具に研究して、他山の石とせんとする趣旨に他ならぬのである。

皇民われ生ける巖あり天地の

榮ゆる時にあへらく念へば

展覽會を一覽して、更にかの萬葉歌人の雄渾なる氣魄を想ひ浮べるのは、われ等皇國の民であらねばならない。

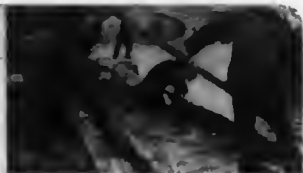
マークは暴落し民衆生活は
不安の渦に巻込まれた



失業者 670万



産児は減少し国民の體位は低下した



石炭つり

塵埃の煙、河に落ちた
石炭を拾い失業者の姿



燃料泥濘

親心なるべき苦の子供までが場
には燃料泥濘を餅くに至つた

出生率の減少



飲食兒童 飲食兒童は飢を訴へ貧
窮生活所に親到した

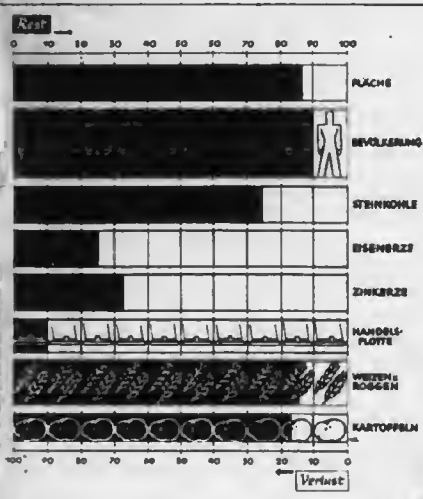




奪はれたドイツの領土

- 無投票なしにドイツとオーストリアより奪はれたる領土
- 国民投票により奪はれたる領土
- ドイツ国より失はれたる領土
- ドイツに残留した領土
- 十五年協約において国民投票によつて定める地域
- 戦後投票によつて決められた地域
- 一時占領された地域

搾滅されたドイツの資源



Rest 残り
Verlust 損失

FLÄCHE 面積
BEVÖLKERUNG 人口
STEINKOHE 石炭
EISENERZE 鉄鉱
HANDELS=FLOTTE 商船
WEIZEN u. ROGGEN 小麦、裸麦
KARTOFFELN 馬鈴薯

これに反し益々 擴大強化されてゆく各國の軍備

- 平和時の軍備 5 万
- 戦時の軍備 5 万
- 戦艦
- 戦艦 300 門
- タンク 50 台
- 飛行士数 300 人
- 戦艦 25,000 トン



ヒットラー起つ!

ドイツ國家を崩壊に導くユダヤ民族の

マルクス主義的陰謀は功を奏し、民主

主義の嵐はドイツ國家を蝕み、ドイツ

は今や滅亡の直前にあつた。

この憎むべき祖國の敵民主主義に對抗

し、敢然と戦ふべく起つた愛國者……

伍長アドルフ・ヒットラーノ



三十八の政黨は對立しユダヤ人は共產黨を指導してドイツ顛覆を計る、この不安な状態の中にユダヤ人の經營する一部の事業と歡樂境のみが不夜城の觀を呈し墮落と淫佚の世界を展開した

三十八の政黨は對立し、
にはヒトラーが首を擡げた

共產黨と警官の衝突は日々頻りに激ぜられた

かかる歐羅巴は前夜春秋に富む百年の心身を蝕み、
腐敗が祖國の爲に起つべきを完全には察知せしめた

世界史の教へる所に依ると、最國の侵襲に依つて亡びた國の數よりも、暴政苛酷、淫靡の生活を國民が送る結果として人口激減し、遂に他國民族の爲に亡ぶられた國家の數の方が多い。「ローマを亡ぼせしものはローマ人なり」とは常に千古の至言である。
一九一九年より一九三三年ヒトラーが政権を確立するまでの間は、正にかかる世紀の幕開した。



鉤十字の誕生



現在の通称「鉤十字」は1920年に最初ナチス黨として誕生した。石炭時代に起源を持つドイツ民族はこの「鉤十字」を以て太陽と生命のシンボルとしてゐた。ヒトラー自らは「鉤十字」の意味を次の如く述べてゐる。「鉤十字」の中に吾等はナチスの精神が凝縮されてゐるのを見る。赤色は吾々の熱烈なる心情を表し、白色は純潔を、そして「鉤十字」はアリアン人の創造的な活動を表すものである。



『突撃隊』の編成

第一次大戦後ドイツはマルクス主義の流弊をうけ、民衆は革命によつて欺瞞された。この僑民解放者の中からドイツ國民を救ふことが突撃隊の使命であつた。數十萬の狂熱的な闘士から成る突撃隊は望々と世路を行進して勇敢に「赤」と闘つた。この戦ひに幾多の先驅者が倒れた。だが彼等の犠牲は決して無駄ではなかつた。新しいドイツの復興と共に突撃隊もまた輝かしく成長して行つた。

ナチス政權樹立

一九三三年選挙に國民の愛を博つてナチスは最大多数の得票を収め、一月三十日大統領ヒンデンブルグ元帥より首相の命を受け、民衆の愛戴を全權主義の根本原則に基づく新國家形を確立した。かくしてドイツ再建の火は燃え上がったのである。僅に七年一九三九年ヒトラーはブラウグに入城して先づその宿愿の一端を實現した。





ナチスの綱領は民衆の支持を得、選挙に於ける得票数は逐年増加していった。

ヒットラー起つ

新しき時代の潮が涌き出る時、偉大な民族の中からは必ず偉大な英雄が出現する。ゲルマン種族の雄志は偉なるべきゲルマンの子ドイツ民族を神に奈落のどん底につき落さんとした。外に戦勝國の前景あり、内にユダヤの暴動する闇黒のドイツの中から、かのゲリシヤ滅亡に於ける死灰の中より飛立つた鷲鳥フエニクスにも似て……ヒットラーは起つた！
時正に一九一九年！

× × × ×

興起した英雄はさらに時代の潮を激打する。何れ六人の黨員を率ゐて起つたヒットラーの行く手は、げららの道であつた。然も彼は前線に東西西走路の置まる暇もなく不死身の雄略を揮つた。彼の奔走せる巨魁の總機軸は實に地球の赤道を一翼した巨龍に等しいといふ。数家の雄辯を聞く彼の雄弁を耳にするに吾々はゲーテの「ファウスト」中の一句を想起する。曰く「^{ワグネル}太初に言葉ありき」かくて輝かしい新時代が近づく。

再建のドイツ

今やヒットラーを總統とするナチスは
立上つた、ドイツ民族は打つて一丸と
なり民族協同體の大理想のもとにドイ
ツ再建に血と汗の活動を續け今次大戦
の輝しき勝利への戦闘準備を完了した
今その國家總力戦の全貌を

- 1 軍事・政治戦
- 2 思想・文化戦
- 3 經濟・産業戦

に分類し、その過程と結實を展開して
ゆかう

國民社會主義ドイツ労働黨綱領拔萃

○人種、才能を無視し、富貴の程度によつてのみ官職を任命する腐敗的議會主義に對して闘ふ。

○公民凡ての第一義務は精神的にも肉體的にも生産することにあらねばならない。個人の活動は公共の利益に背馳すべからず、全國の界内に而して凡ての利益のために要求せらるべきである。

○不勞所得の排除、利子生活の打破。

○凡て戰爭の犠牲に要求する人命と財産の大なる犠牲に當り戰役に依る個人の富財を國民に對する犯罪と罰致す。從つて凡ゆる國境利得の永久的沒收を要求す。

○凡ての既成會社組織に「トラスト制度」の適用を要求す。

○大企業の利益分配を要求す。

○健全なる中流階級の國家をその建立。

○わが黨の主義を大に必要とするものあり、公認するものに不利益を取得され、かつ公衆輿論に反する事柄もあれば、之等の黨綱を修正の必要、増訂の必要、土地没収の禁止。

○公民を生産する者と消費するものとに分け、

○消費財の生産の妨げを禁止する法律を制定、其の適用を要求す。

○凡ての利得は生産者なる國民人か否かによる分配を受け、搾取は法律に厳禁すべし。全教育制度の教育課程は實生活の準備、且つ國民意識の培養は學校(公民學校)に於て理解力の發達と共に目的とせらるべし。此の目的は、青年の教育、児童の地位、職業の如何を問はず、國家を以て前提せらるべし。

○國家は母性及び小兒の保護、幼年労働の禁止、職業及び學校義務の法定化による國民の獎勵、青少年の精神に従ふ全國體への模範により、國民民族の増進を計るべし。

○獨逸國家に對し危險を及ぼさず、又ゲルマン民族の倫理感情及び道徳感情に背かざる限りに於て、國內に於ける信仰の自由を認む。獨逸労働黨は一定の信仰告白に束縛さるる事なく眞實の基督教の立場を代表す。黨は肉體的が能く何れを信ぜず強力的、唯物的精神に誘惑し、獨逸國民の恒久的更生は次の根本觀念の上に来るべき事を信ぜず、固く「公徳は私徳に先んず」

○以上の要求を貫徹せんが爲、獨逸なる國家の中央集權の確立、全國土及びその機構の上に通き政治的中央議會の常設的組織の確立、各同盟獨逸第三國家の注視を離しせしむる爲に獨逸及び戰前議會の設立を要求す。

再建のドイツ

今やヒットラーを總統とするナチスは
立上つた、ドイツ民族は打つて一丸と
なり民族協同體の大理想のもとにドイ
ツ再建に血と汗の活動を續け今大大戰
の輝しき勝利への戦闘準備を完了した
今その國家總力戰の全貌を

- 1 軍事・政治戰
- 2 思想・文化戰
- 3 經濟・産業戰

に分類し、その過程と結實を展開して
ゆかう

國民社會主義ドイツ労働黨綱領拔萃

- 人柄、才能を無視し、黨派的見地によつてのみ官職を任命する腐敗的議會主義に對して闘ひ。
- 公民凡ての第一義務は職能的にも肉體的にも生産することにあらねばならない。個人の活動は公共の利益に背馳すべからず、全體の枠内に而して凡ての利益のために追求せらるべきである。
- 不勞所得の排除、利子食生活の打破。
- 凡て戦争が利益に要求する人命と財産の大なる犠牲に當り戦争に依る個人的蓄財を國民に對する犯罪と看做す。従つて凡ゆる戰時利益の永久の沒收を要求す。
- 凡ての株式会社組織に「トラスト經營」の組織化を要求す。
- 大企業の利益分配を要求す。
- 健全なる中産階級の保護とその確立。
- わが種族的繁榮を遂げに必要なる土地の確保、公益目的のために不合法に取得され、かつ公益義務に反して管理せられた土地の無償没収法の制定、増地の禁止と土地没収の禁止。
- 公益を侵害する者を厳格に懲罰す。
- 世界進歩的社會主義に對する國家法を撤し、異議を提出すを要求す。
- 凡ての若者かつ労働なる獨逸人が平等なる教育を受け、指導的立場に就き得るべし。全教育制度の教育課程は實生活の必要に基き、國家教育の根柢は學校(公民學)に於て理解力の開發と共に目的とせらるべし。特に要すべき能力ある青年は、両親の地位、職業の如何を問はず、國家を以て教育せらるべし。
- 國家は自作及び小兒の保護、幼年労働の禁止、職業及び學校教育の法定化による體育の奨励、青少年の體育に從ふ全身體への援助により、國民健康の増進を計るべし。
- 獨逸國家に對し府縣を及ぼさず、又ゲルマン民族の倫理感情及び道德感情に背かざる限りに於て、極端に於ける信仰の自由を認む。獨逸労働黨は一定の政治告白に束縛せらる事なく眞摯の基督教的立場を代表す。黨は内心的外形的何れを問はず禁欲的、唯物論的腐敗に決別し、獨逸國民の永久の繁榮は次の根本觀念の上に來るべき事を確信す。即ち「公益は私益に先んず」
- 以上の要求を貫徹せんが爲、鞏固なる國家の中央集權の確立、全國土及びその機構の上に遍く政治的中央集權の科學的組織の確立、各同盟國家に國家の法規を頒布せしむる爲に附設及び機能議會の設立を要求す。

ドイツ国防軍の編成

第二次世界大戦が直後ヒットラーの命令一
下、国家は全精力を費して戦時態勢に移った。
これは民衆、軍需を通じてその生産と消費を
合理的ならしめる為、悉く経済政策本部の管
理下に集め民衆を必要の最少限度に止め他の
全部の資源を国防産業に充當した。ゲルサイ
ン平和政策に依つて陸軍は十万人に減ぜられ
タンク、飛行機等の製造禁止及び徴兵制度の
撤廃を余儀なくせられ又軍用は沿岸の防備を
果たすにも足らざるまで制限せられ乍ら、ナチ
ス政権建立後英米露に對し幾つての公約に従
ひ軍備の暫小を實行すべき事を提議した。然
るに列強はこれに一體だも與へず益々その
自國の軍備を擴張した。

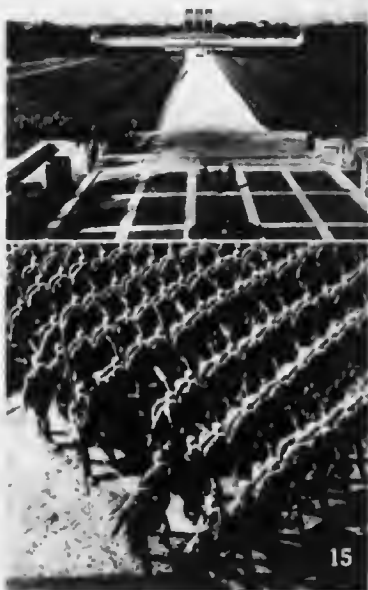
ここに於てヒットラーは、一九三五年所謂
「再軍備令」を行ひ公然ゲルサイン條約の束
縛を脱して再軍備を暫小し遂に昨年今又大
増強するや値大なる戦果を推測した。

ニュルンベルクの

黨大會

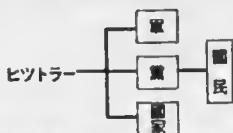
毎秋九月ニュルンベルクにおいてナチス黨大
會が開催される、参加者は全國の黨・政府・
軍・H. J. 勤勞青年等々の各機關からの數万
の代表者である。會議は正確なるプログラム
に従つて數日開示される、その次ぎの黨大會
までに民族をあげて演説すべき大スローガン
を確立し全體を呼び起す、この大會におい
てヒットラー以下の巨魁も對し戦く面談
することは、各代表者の大きな喜びであり彼
等はその感銘を郷土の人々に傳へ、ここに黨
と國民との間に和やかな連絡が確立される。
この大會を利用して大規模なスポーツや娯
樂にわたる新兵器を公開して、對外的には國
民の總動員熱の急を高め、對外的にはドイツ
恐るべしとの感を與へる。

大會當日のヒットラーおよび巨魁達の演説は
全世界に注目され、反響デモ宣傳を粉砕する
に大きな力を持つてゐる、たゞ各代表者がK.
D. F.を利用してニュルンベルクに集まるこ
とも忘れてはならない。





總統の権能



總統の権能は、上の三位一體の完全なる統帥權を持つ

黨と國家

「民族」なる現象生活はややもすれば一個人の内面と同様に生々しく、瞬間死滅の過程を辿るものなる事は歴史の教ふところである。ナチス黨はナチス的 세계觀を堅持する人を以て組織し、終始不斷、民族維持発展の道に邁進する國民の活氣を興へ、常に革新の熱意を以て「開放現象」に直面するや奮然たる態度を以て對峙する態度を有す。ナチス黨は政治論から生れたものではない。第一次歐洲大戰の年頃の中から、起死回生の戰士の情から自然發覺的に生れ出で、ヒットラーを中心として組織されたものである。

従つてヒットラー一黨の巨魁は、新總統と共に政權樹立前に國內外の情の動向に對し緊きスクラムを組み生死を賭して戦つた同志のみである。

新黨員の採用に當つても特に人物の考査を數にする意圖も右の理由に基く。

政府官吏に必ずしも黨員たるを要しないけれども、自衛隊に立つ官吏及びその後進者の要員は全部黨員である。

ナチス黨の幹部



著々たるドイツの勝利をもたらしたものの

工場分散と標準規格

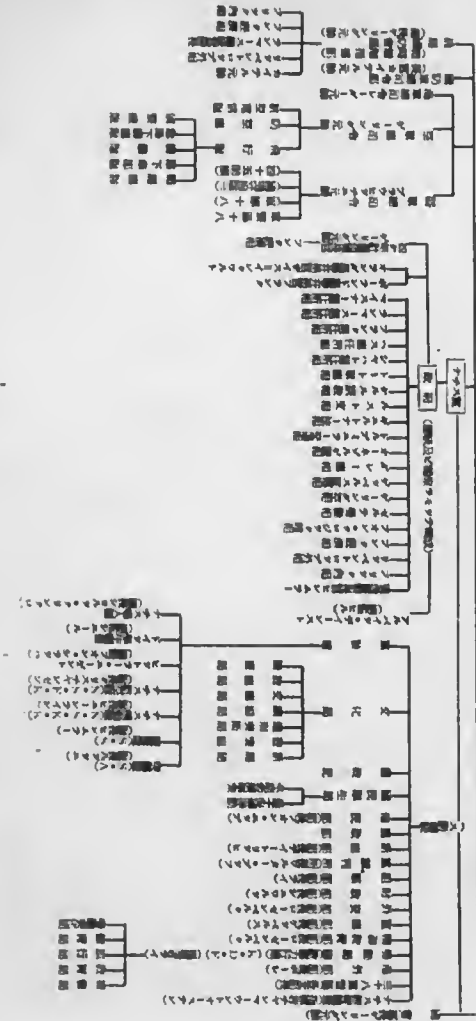
第一次世界大戦終結後協約国はドイツ空軍を永久的に破壊せんとした。爲に航空廠を分解され航空工業製造は杜絶した。だがこの逆境の廿年はドイツ空軍にとつては同時に著々たる研究準備の時代であり従ひことなきドイツ飛行機の努力は「工場分散」と「標準規格」といふ種れた組織を生んだ。

(1)「工場分散」ゲイムラー、ボツヌ、ドルニエなどには主要工場が建てられたこれらの新設工場は空襲された場合を考へて航空工場は全土に分散されてゐる。各分工場は獨立して設計、製作を分業社に委託しそれを親工場に集めここで始めて組立てられる。更に各分工場はいつでも徒弟學校を設立して將來工の養成に余念がない。

(2)「標準規格」ドイツ空軍は戰術的補給の見地から飛行機の型の數を出来るだけ少くせんとする爲に、各工場の製造方法は殆んど等しく空軍の要求する飛行機を全く同じ規格同じ期間に製造し得る。この兩主張は國家の補助のもとに實現され航空機製造品工場にも及ぼされてゐる。かくて最小の材料と時間で最大の生産をなさんとするドイツ航空工業の體面は著々と實現されつつある。



ヒットラー 總統



民間航空

ヴェルサイユ平和協定の規約の下に軍用飛行機の製造の禁止を受けたドイツは民間航空機の製造に全力を注ぎ輝き成果を挙げた。この民間航空の発展の結果再軍備に當つて軍用機の製造の需要を見たのである。



防空

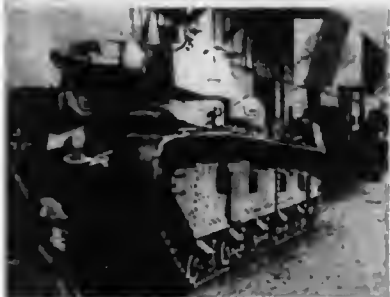
ヒットラー政権樹立の一九三三年ドイツは實に六七〇万の失業者群を興へた。併し政府は低利貸付を行ひこの失業者を利用し各家庭の防空設備へ使役した。ドイツの各主要都市はこの新防空設備をいよいよ強化しベルリンの如きその住民の大部分を収容し得る大防空壕を作つて居る。火災に對し比較的安全堅固な建築建築物に於てすら防空に對しかくの如く設備をしてゐる。然るに日本の木造建築物はどうだろうか。皆さん想像するさへゾツと致しはしませんか。東京、大阪等の都市に若し隣国の軍機が飛つたら、その時、即ち防空設備に大難になるだらうからその時では既に遅い、心すべきことである。





ドイツ外交の勝利

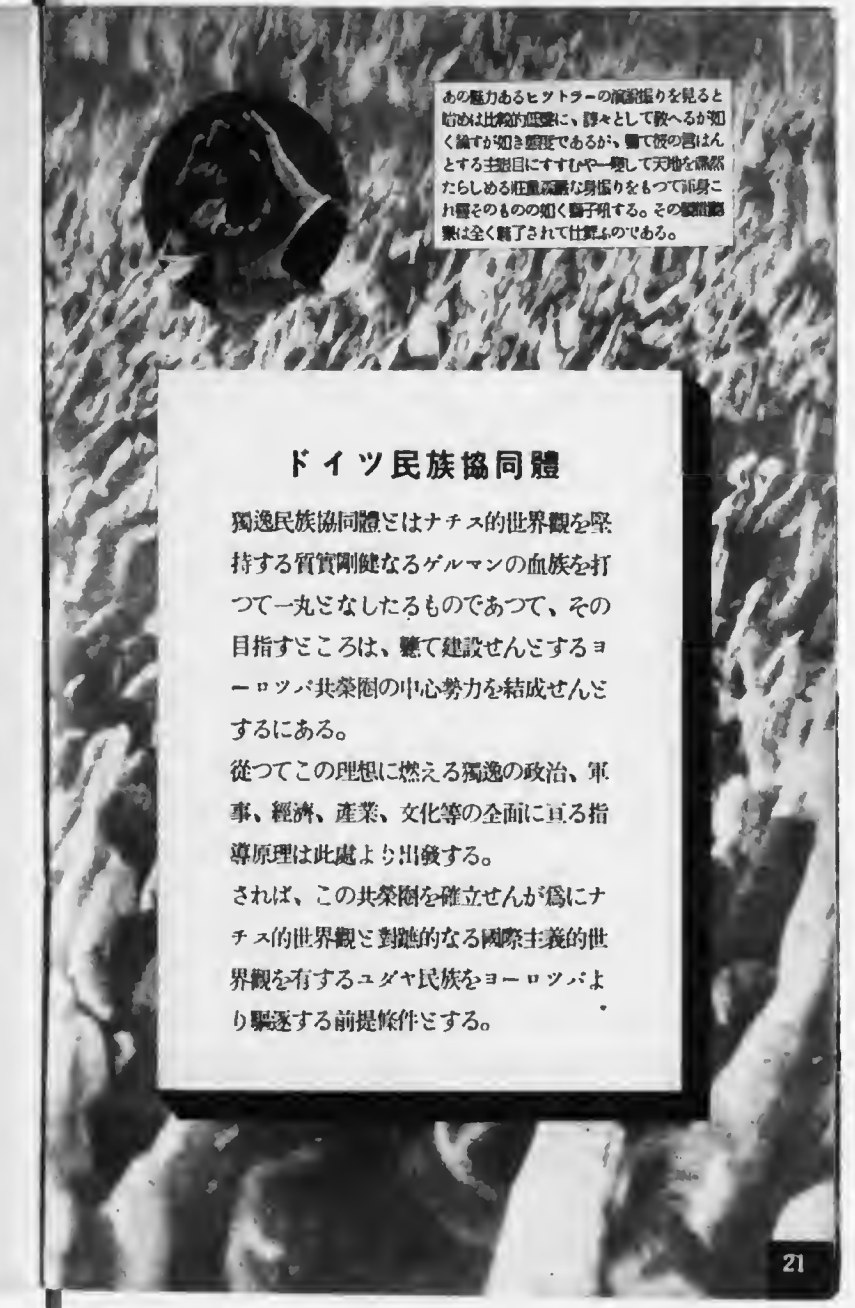
今次大戦のあのドイツの戦勝が勝利は畢竟するにドイツの「外交の勝利」にありといわれてゐる。ドイツの外交は、ここに一段落の發展を遂げた。一層外交といふものの從來の考へ方は——出来さうなことを出来させた——のであつた。圖説されたビスマルクの外交も又これに外ならなかつた。然るにヒットラーは——出来さうにないことを出来させる——見聞録のごとき放れ果をやつた。正に新外交の創造である。ソ聯を味方に入れ、イタリーと戦線の交りを感じ軍事同盟を結んだ、いづれも成功の實例である。



ドイツ防諜の勝利

最新兵器も開戦前に敵國スパイに見られては最早や新兵器でない。又兵器の機密地位についても同じことが云へる。落下傘部隊、火焰攻撃隊は必ずしもドイツの秘密ではなかつた、これを實際に應用するまで完全に破産し得た防諜の戦である。同様に勝利の予兆に例の第五列第五部隊の活躍のあつたことは特筆すべきである。





あの魅力あるヒットラーの演説振りを見ると始めは比較的簡単に、静々として聴へるが如く論ずるが如き態度であるが、驟て彼の言はんとする主題にすむや一變して天地を沸然たらしめる莊重深遠な身振りをもつて訴身これ程のもの如く獅子吼する。その演説効果は全く驚了されて仕舞ふのである。

ドイツ民族協同體

獨逸民族協同體とはナチス的世界觀を堅持する質實剛健なるゲルマンの血族を打つて一丸となしたるものであつて、その目指すところは、總て建設せんとするヨーロッパ共榮圈の中心勢力を結成せんとするにある。

従つてこの理想に燃える獨逸の政治、軍事、經濟、産業、文化等の全面に亘る指導原理は此處より出發する。

されば、この共榮圈を確立せんが爲にナチス的世界觀と對蹠的な國際主義的世界觀を有するユダヤ民族をヨーロッパより驅逐する前提條件とする。



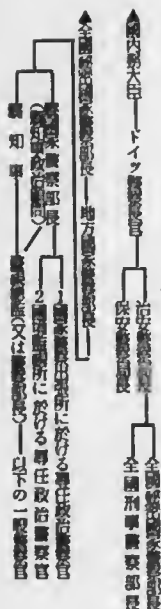
ドイツの 国家秘密警察

いまはいい犯罪を國內から排除する爲に、ドイツは秘密警察といふ機關を樹立した。秘密といふ字句は何となく怪しに解されるるところから、故意にこの秘密警察をロシヤのゲ・ペ・ウの如きものであると宣傳してゐる向もあるが、これは世界何處の條にも求めない、國家の科學的綜合方法に基づく完全な犯罪除去、犯罪防止の機關であつて、多くの示唆を含んでゐる。ナチス政權以前の司法機關は犯人が現出するまで機能しなかつた。またなし得なかつた。然るにヒットラー治下に於ては前記の秘密警察の組織のもとに全く新しい次の方法を用ひることになつた。犯行をしようとする中で考へてゐるもの、犯行を今はいないか必ず將來する人……即ち潜在犯人はバクテリアの如くその「犯行をした犯人」よりも数十倍多い。この「潜在犯人」を除けば犯罪は理論的に地上から撲滅出来る。

これをゲシュタポは社會から隔離しようとするのである。犯人のうち最も可能に犯罪なものは、酒癖なものであるが、これには又組織的な警察が對してゐる。

秘密警察の對象とする犯罪者は、一、共產黨員、二、反政府的政治社會犯人、三、陰謀家、四、暗殺の社會不安を惹起せんとするもの、五、教育、出版物、娯樂機關等を法網を潜つて濫用し國家社會を破壊に導かんとするもの、六、性的犯罪者等であり、これの要素を犯行の事實を待たないで、あらゆる捜査と科學的綜合の方法で知り「潜在犯人」として選別し、そして正しい意味の人道主義から救ひの手をさしのべるのである。その救ひの手とはどんなものかといへば「潜在犯人」を「犯罪防止教育所」に收容し、新しい人生へ再出發する教育と訓練とを與へるのである。

犯罪防止教育所は地獄の如き場所などではない。ここに入られた潜在犯人は一定の期間によつて生活に從事し、労働物を生む使役となつたりは自給自足をつづけ、常に衣食住はこれと缺かず生活を送る。國庫の負擔は殆んどないといふ素晴らしい方法である。警察は先天犯罪者は精神法をほどこして同じく收容して教育する。潜在犯人達は仕事に關する限りに各様の技能を修得する。そして彫刻、運動、名畫、演劇、演説、演説、愛護心……段々と進んで行く。改善の實が現れた後は思ひなるドイツ國民として稱れて社會に出来るのである。試みに犯罪防止警察の統計表を見るにナチス政權獲得以前(一九三二年)の七〇%に對して本制度採用後(一九三三年—一九三七年)は實に二〇%といふ減少を示してゐる。



純粋體育

體位の體操はドイツ體操の源泉也。

脱走、跳躍、槍投、拳闘、でんぐり返り、宙返り人間椅子、各種體操及事々總て年齢に適當な標準を定め、それに適應する事により體位の向上を通じてナチス的世界觀を灌輸する。全教育體操を通じて指導者の最も留意すべきは無邪氣な少年の體育に對する興味を減殺せしめぬことだ。殊に都會に育つた青少年はややもすると過去の文化人的傾向に陥らんとするからこれを防止して體を鍛へたる所謂「野人的人物」を養成するにある。



純粋體育の他にサートバイ隊、飛行隊、通信隊、射撃隊、海洋青年隊、乗馬隊、衛生隊等々があり、その特長と才能とを早くからのばさしめ將來軍隊に入つた時直ちにその特有技能を活用出来る基礎を確立してゐる。その結果は今大戦に顯著に現れた。



野營生活

毎年夏期に一週間乃至二週間、人生離れた大自然の地にテント生活が行われる。この期間に農村の眞の姿に觸れさせ果しい野營生活の内に體鍛育が心身の鍛錬を行つてゐる。





ヒトラー・ユーゲント

Hitler-Jugend

× × × ×

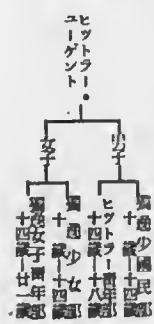
目 的

その職員八百万を誇るヒトラー・ユーゲントの目的は、これ等の青少年を通じて第二のヒトラーたり得る資格を持つといふ大理想と信念を付与する事にある。

體育ならびに精神訓練は右に述べた民族協同體の理想に感える若き指導者に依つてのみ完全に行はれてゐる。彼等はしばしば大自然の懷に抱かれつつ自治的な野營生活を營み、言葉と共にする間に自ら過去の階級對立の觀念を一掃し、他日國家民族の中堅たらんとする意氣に感える。

その結果として腐敗的な都會文化にわさはひされた心身の脆弱な青少年はその體を斷つに至つた。

組 織



ヒトラー・ユーゲントの訓練を體た者の大部分は兼てアルハイツ・ディーンストを行ひ、半ヶ年の訓練の後一部の者(ヒトラー青少年團及びアルハイツ・ディーンストに於て特に成績優良の者に限る)は兼て大學教育を受ける資格が與へられる。



アルバイツ・ディーンスト 動 勞 奉 仕 團

目 的

動勞奉仕團はヒットラー・ユーゲントを終了した満十八歳から満廿五歳の全獨逸青年が六ヶ月間に亘る服とシヤベルをもつてする國家奉仕の義務である。

この期間の訓練は身體教育と精神教育にその重点が置かれ、軍とシヤベルは綱と繩に持ち代へられる軍隊生活の予備である。從來の如く單なる學校教育ばかりに青少年の教育を一任する時は所謂蒼白な知識万能のインテリ青年の人物が生れる傾向がある。そのために從來は國民中に知識人と動勞大衆との二つの層が平立したのだ。是は民族協同體の理想に反する。

従つてアルバイツ・ディーンストの教育に於ては學生も動勞青年も友愛精神の下に結合せられ、また相互に尊敬と愛情を以て結ばれるやうに努めてゐる。ヒットラーは彼等に次のやうに叫んでゐる。

「役務に滿せしめられた我民族を立上らせるものは單なる『言葉』だけでは駄目だ。『行動』のみが吾等を救ふものだ」

この全期間を通じて肉體的勞働の最も尊重すべき事を強調してゐる。

オーデンプルクの 黨指導者養成所

ヒットラー・ユーゲント、アルバイツ・ディーンストの隊員の内から精神が最も肉體が最も優秀なるものを選出し特殊なる教育方針のもとに鐵血な民族協同體の理想を灌輸せしめ將來黨軍民間の指導者たらしめることを目的とする指導者養成所である。





ヒットラー・ユージェント

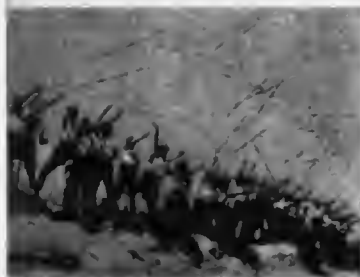
女子部

ナチスの女子は先づ第一に『よい主婦』であり、『よい母』でなければならない。この『よい主婦』を作る爲に都市と農村を同じく貧富を論ぜず若き乙女達は女子青年團に入つて労働を喜び身體の訓練に飽んでゐる、彼女達は手を携へて農村に宿願し農家の手助けをしながら相互の美徳を取入れ、健康を修正し合ふのである。かくて將來の母達おつちりと團結する。そしてこの團結と理解の中からやがて力強い民族が誕生するのである。



女子のスポーツ

野營生活、槍投、體操、射撃、健全な國民體操等のスポーツはこの將來の母達を日々に鍛へて行く



アルバイツ・デーンストの

血と汗の實績

從來採掘のとれなかつた不毛地の開拓、
沼地、鹽地、海岸の埋立、森林の伐採、
國有自動車専用道路の建設等々莫大なる
大事業の建設は今や莫大な死せる土地に
に生命を與へた。ドイツは舊々食料の自
給自足の確立に向つて努力しつつある。
ナチス政権獲得後この労働奉仕に依つて
得た實績を一年平均に見ると、土地耕
水二〇〇、〇〇〇ヘクタール、植林一三
五、〇〇〇ヘクタール、道路建設八五、
〇〇〇ヘクタール、土地改良五〇、〇〇
〇ヘクタール、河川改修一〇、〇〇〇ヘ
クタール、森林道路建設九、〇〇〇ヘク
タール（一ヘクタールは一町二五歩）の驚
異的數字を見ることゝ出来る。あのオリ
ンピック競技場も彼等の労働の結實の一
例であり、ジークフリート要塞も彼等
の労働の所産である。



女子勤勞奉仕團

女性も女性の獨特の労働奉仕を！農村の
育兒、補まき、肥肥、家畜の世話、食料
家事の手得ひぬ！男子勤勞奉仕隊員の衣
服の縫製、洗濯等々農家の種々な必要
をなさしめる。その結果として都會育ち
の富裕な女子と素朴な農村の婦人とが過
去に於てみられなかつた一長兩和をする
といつた情眼が到る所に現はれ民族は一
帯一風なりとの實證を示し民族協同體と云
ふナチス世界觀の確立に貢献するところ
實に多大である。





6 時……起床・朝礼・朝会



7 時半……登山へ出発



10 時……朝食



10 時半～2 時……倉庫より歸校



2 時……夕食

アルバイツ・デーンスト
の 一 日



7 時45分～10 時……労働奉仕



3 時……放課後・運動部練習



5 時……政治教育



6 時……放課・夕食



7 時……演劇・唱歌・会合



8 時……閉校・整理・洗濯

結婚と出産奨励制度

「家庭は國家の細胞でありナチス的社會主義の力の源泉である」とヒットラーは云ふ。

母は國力の母體であり、子は明日のドイツを背負ふべき原動力であると云ふ。従つて結婚と出産の奨励が行はれてゐる。

一九三二年のドイツ國內は無兒主義、一兒主義乃至二兒主義を唱へて出産率は僅かに人口一千人に對して結婚數は七・九人と云ふ愚ふべき

數字を示してゐたが、ヒットラー政府成立後は遂にこれ等の惡傾向を打破し、次の如き結婚と出産に關する奨励制度をとつた。

一、結婚奨励金の交付 結婚者には必要に應じ一千マークの奨励金が税より交付せられる。

特に農村の婦女子、衛生婦、保健婦には優先權が與へられる。

一、出産奨励金の交付 右の結婚奨励金は一人の出産毎に二百五十マークが交付せられる（従つて四人の子供を産んだ家庭は右の結婚奨励金一千マーク返済するを要しなくなる）

一、右の奨励制度に依り、一九三八年の一月一日までに結婚數は八十万組を見るに至り、一九三七年度の比には七十万七千八百六十七人の出産を見た。

一、年収八千マーク以下の者の出産に對し三人目、四人目の子供には毎週十マーク、五人目以上は二十マークの特別補助金が税より下附せられ、十六歳乃至二十歳に至るまで毎週これに等しい額が交付される。この特別金の交付を見た兒童の數は一九三八年四月以來少くとも二百万人の多數に上つてゐる。

一、母子供の多し家庭には育児補助金として一家庭平均三百三十マークが與へられ、その數約三百万を見るに至つた。

一、特に親戚やある兒童に對しては高等教育を受ける學費として一人當り平均六百マークが與へられてゐる。



種族の純潔

西學者シュペンダーの西歐種族に述べられたやうな傾向を辿る歐洲を根本的に立直すためにはゲルマン民族の結合以外にはない。かくして種族の純潔が要求され、ユダヤ民族の排除が叫ばれる。新種法の目的もこの種族の純潔を保持するにある。





ナチス婦人指導部の活躍

勃興ドイツの原因を探索する時に我々は婦人の貢献せる力の大なるに驚嘆する。それは個々の女性のまじまじな活動力ではなくて、ナチスの世界觀の自覺のもとに統制組織された大女性軍の活動力である。

この指導機關として副總裁ドクトル・ヘスの直轄下にあるナチス婦人指導部を擧げることが出来る。

「女性の事は女性でなければ正しい理解は不可能である。正しい理解が出來て初めて女性の凡ゆる問題は解決され、同時にまた女性の力を最大限に發揮することが出来る」といふ論理のもとにシヨルククリンク女史を指導者としてその下に優秀なる女性の多數指導者が

全般的に配置され、いはゆる指導者組織を作り女性問題を研究し女性の指導と福利を行つてゐる。その機能を「ナチス婦人指導部」と稱し、本部をベルリンに置いて

第一部一般管理局 第二部事務局 第三部人事局 第四部宣傳局

に分ち、新聞、ラヂオ、映画、書籍を通じて次の教育指導に當つてゐる。

◇文化的教育 ◇世界的教育 ◇地位向上 ◇民族の純血を確保する爲の教育
◇音楽 ◇造形美術 ◇女學校教育 ◇科學教育 ◇家事、園芸、料理、裁縫の家政教育 ◇出産 ◇育児 ◇養育 ◇國民經濟學 ◇榮養 ◇衣食住に關する家庭生活の合理化 ◇海外移住の準備訓練等々
かかる女性教育は從來の自由主義的な教育と異り、眞に女性をしてその天性に目覺めしめ、幾多の良き指導者を生み、又第一流の學者、藝術家を作つて益々發展の過程を辿りつつある。

次に「ナチス婦人指導部」の活動と施設を記してみると

◇全獨に三百の「母の學校」が掌設されてゐる。

◇巡回講演會は一九三四年から一九三七年の間に五万三千九百七十七回、それに依つて教育された婦人の數は百十四万人。

◇婦人教育に關する一切の教科書の編纂。

◇料理講習會場は全獨に八十ヶ所あり、一九三七年頃のみでも二万八千回の講習會を開き、六十一万三千六百十二人の婦人が教育されてゐる。

◇婦人の保健問題は完全に研究檢討が行われ、母「結婚と出産の健康問題」面に「専らする母の保健施設」等の如き福利施設がある。

◇未婚の婦人には將來完全な主婦たるべき訓練を與へてゐる。

◇附屬の常設陳列館には上記の凡ゆる問題に關する參考書が置かれてある。

かくしてこの教育と保健のもとに女性の勤勞者數は一九三八年に於ては千二百万人を數ふるに至つた。

第二次四ヶ年計劃の發展もこの等女性の力に與るところ大なりと云はねばならない。

労働者住宅

富有自動車専用道路の四通八達が農村地からの通勤を可能ならしめる。美しい大自然の中に建てられた合理的な集合小住宅！

清浄な空気に浴する太陽の光り！ナチスの福利施設の一部門である。



冬期救済事業

ナチス政権建立後急激に失業者の増減を見たから、同生存競争に陥じた窮乏な人々を救済する為、に冬期に行はれる全国的な事業である。一九三八年の街頭集金で集った金額がけで四二〇、五四九、六三〇マルク（一マルクは現在一円七〇銭）と云ふ巨額の数字に上つてゐる。



藝術政策

過去の自由主義的時代にては藝術は有産階級の獨占に委ねられてゐるかの如き圖を呈してゐた。然るにナチス政権建立後は藝術は國民全體の藝術の對象となり余暇を善用して等しく生の悦びを感じさせる政策をとつてゐる。音楽・美術・彫刻・劇・映画・文藝等の普及と相俟つて國民全體の情懷を高め同時に勤勞階級の者には必要な「気分轉換」に役立ち、生産能力を向上させてゐる。





働く母の保健施設

働く婦人は國家の力を高めるものだ。そのためにドイツでは働く婦人のためにあらゆる保護と福利施設が考慮されてゐる。

- 一、職業の公私に拘らず勤勞婦人が参加した組合は産前産後六週間(計十二週間)公然と休業を與へられる。産後勤務に耐へざる者に對しては産後十二週間迄怠慢する特典がある。万一これを與へざる業主は法律に

依り罰せられる。この休業期間中職場は女學生が無給にて交代する。

- 一、又産後六ヶ月以内は母は授乳の爲一日二度、三十分乃至一時間職場を去ることを許可してゐる。
 - 一、妊娠授乳中は一週四十八時間以上の労働を許さぬ。
 - 一、出産に關する一切の費用は疾病保険にて負擔される。
 - 一、勤勞する母の心身疲勞の爲は「ナチス婦人指導部」附屬の「母の憩ひの家」にて施設的な静養をさせる。その間女學生は無給で仕事の交代をなす義務がある。その勤務は二週乃至四週間で交代する。
 - 一、農事場における母の手傳ひのため幼稚園が設けられ、一九三七年末には常設の幼稚園三千三百八十四、一九三七年九月における農事場児童託児所は四千四百十一に上つてゐる。
- また産前産後のため一九三三年以來百七十七万六千九百三人が保護所に送られてゐる。



家庭生活の合理化

國民所得の八〇%は婦人の手を経て消費されてゆく。そこで國家はこの國家經濟の大局から家庭の主婦に向つて各種各様の機関、特にラヂオを通じて衣食住の全面にわたる合理的放散をほどこしてゐる。家庭の製品は硝子、漆、銅、木材、家庭資料といふ風に各家庭で分類箱に入れられてこれをヒットラー・ユースがんと蒐集するために製品はその九〇%が製造されてゐる。

第一次四ヶ年計画

ヒットラーが政権成立の一九三三年當時ドイツには600,000人の失業者が居た。これは飢饉に泣き同様に悲慘な生活相を現出され共産黨の陰謀は全ドイツを煽動化してゐた。

この時ヒットラーは第一次四ヶ年計画を立ててこれら失業者に職を與へた。

1 國家道路の建設

2 低利資金の貸付と相俟つて家庭が空家の建設その他生産増加のために全ドイツ民族を動員し經濟界の繁進と同時に永年の失業者に生きる希望さへ失つた者に働く事によつて生の歡喜を再び取返させた。

これこそドイツ再建の労働者の福音であつた。

全産業の部門に新らしい自給自足の經濟政策を樹立しヴェルサイユ條約締結の今次歐洲大戦に必要の戰時體制を取りゲーリングの監督指揮の下にその目的を達成した。

國有自動車専用道路の建設

この道路は全國の軍事、政治、經濟、文化の中心を悉く東西南北に連絡する事になつてゐる。

この道路の特徴は

- 一、同一平面上に相對交叉點を持たない事
- 二、カーブは總て速度を活さない程度である
- 三、自動車専用なるが夜に客車を同様の速度を以て疾走し得る爲に路料を低廉し、車道の隘路を防止し得ることである

この道路の目的以上の諸特徴を全面的に活用して平時には大量の物資及び人を迅速に輸送し得ることである。

戰時には更に軍隊及び軍需品輸送の重大使命を果たすことである。

更にこの道路建設の進展に伴つて自動車工業が大飛躍をとり、又別荘の工費及び住宅の分散にも大きな役割を果たしてゐる。

この工事の爲に建設した從來の土庫は、パナマ運河を模倣したそれを露に設置してゐる。

この道路工事は今後も鋭意進められることになつてゐる。現在は鐵道の軌道を利用して超スピードを以て進行中である。

この國有自動車専用道路完成後にドイツにおける産業の飛躍は恐らく驚異的なものがあるであらう。





ドイツの經濟指導政策

一九三三年ナチスの政権となり爾來今日まで僅かに七年計……西歐制國の實態を握るに至つた事新の歴史の中でその經濟指導の經濟指導原理は何か。先に來朝せるドイツ經濟使節ヘルフェリヒ氏の言に依れば「經濟指導の原理」ドイツでは「計策經濟」は人間の本能を無視し、その創造的活動を制止し且つ經濟的生産を阻害を起せしむる官制的な經濟政策であるとして是を排撃し是に代る個人の創造的能力を最優先に發揚せしむる全體主義思想に立脚せる所謂「指導經濟」を以てする「公論は私益に先んずる」國家への奉仕を目的とした能率性指導經濟の原理を確立させた。

勞働の眞意義

「資本が勞働を創るのではなく、勞働が資本を創るのだ」之は再建ドイツの物質的・精神的原理の要素で勞働第一主義が一切の價値の源泉、勞働が物語の主眼であると言ふ新しい世界觀の下に全ドイツ民族が動員され大事業に着手した。

ドイツ勞働戰線

國民各自をして全能力を發揮し國民生活の最大効用を保障し得べき精神的・肉體的奮闘を作らしめ國民の經濟生活に於て各の所得さしめる目的で國民作業協定形成といふ意味でドイツ勞働戰線の大戦線が成立した。飽くなき利益の追求と富利を目的に國家の發展を無視した國家金融資本の執行本部、英、米、ユダヤの組織こそ再建ドイツ經濟政策の戰術目的とされ自由主義經濟に挑戦した。

農業政策の革新

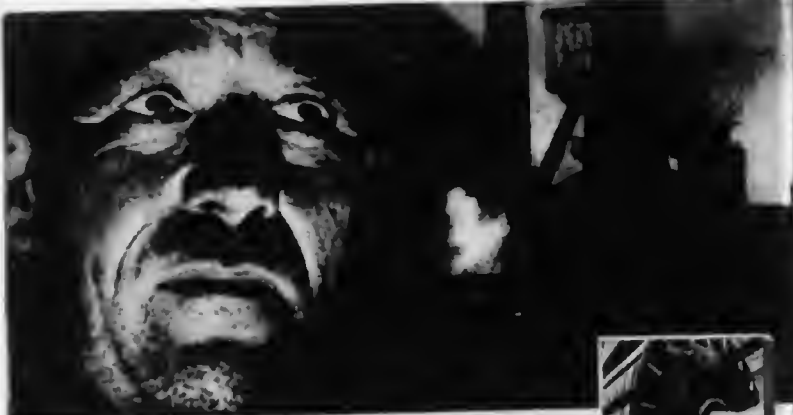
ナチスは國家のすべての機能を利用して農村開發、農民保護の新政策實行に力を盡してゐる。この政策の根幹を流れるのは「農民こそは全國民の食料品を保證する」といふ思想である。一方また進歩せるドイツ養老保險制度は四年制を縮短して農民の老齢における生活不安を除去した。かくして農民は六十歳に至るもほぼ州歳の青年と共に職業として農業にこゝろをこめて勤め続けられ食料は確保された。

「民族の命運」の理念の下に全體民悉くその占むべき場所を與へられ、しかも老後を保證せられた今、子孫のために良田を賣ふ必要は毫もなく、私利を逐ふ農民は一掃され通商の障礙に衝動し國民經濟は目覺ましい奇蹟の道につめた。

農業の機械化

ドイツは人的資源の缺乏地にあつては特に農業の機械化に全力を注ぎ、開墾、播種、農虫、收穫等のために小規模にして堅牢、しかも取扱の簡便なる多數の機械装置を利用してゐる。動力車、トラクター、國有自動車専用道路等も亦この農事に用ゐられてゐる。我國も何時までも原始的な農業方法を以て満足すべきではない。





「工場神説」の組織

自由主義の時代においては工場といふは農村といふはす赤化の魔手が伸びて、労働者の不安状態が社会生活能力を著しく減退したが、ナチス政権確立後は、工場には「工場神説」が灌輸されあらゆる産業部門にこれを設置され、當局の魁をすすめて産業の振興を企てる共産黨の暴威から工場を護るのである。



(上) フイツシャー法に依る石炭液化装置工場
(下) 人造ゴム「ブナ」製造工場

代用品工業の促進

特に輸入品を代替するために代用品工業が促進され、石炭液化、合成ゴム、ブナ、スプ等の製造が成功し産業の合理化と飛躍的生産の増大が図られた。



(下) スプの製造工場



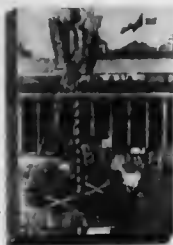
ナチスドイツの切符制

ドイツにおける食糧配給の切替は、今日大體が配給一切の準備を完了し、前記一週間の一九三九年八月廿八日から實施した。實施前日の官報で公布した「ドイツ國民生活必需品配給令」に基づいてこの切替がなされたのである。これは十四種の「生活必需品」を標準し、切替配給制を適用した、この中十種は實に食料品であつた。即ち、パンおよびパン粉、馬鈴薯、肉類、ミルク、乳製品および食料添加物、調味料、砂糖およびジャム、大豆類、硬質豆、咖啡、紅茶およびココア、これら生活必需品より切替の發行する食料局の切替一割増券と引換でなくては消費者には入手出来ないものである、だがこれも實際の需要に適應させ、より完全な配給を行ふため第五通目の九月廿五日から新切替券が九月十日公布の農業食料令によつて實施された。

前宮切符の料金は(一)パン切符赤色(二)肉類切符茶色(三)ミルク切符黄色(四)酒類切符青
 (五)餅類・ジャム切符白以上は全額一律共通(六)食料品切符桃色、食料品だけでは地方のみ
 別料金徴収は(一)通年消費者(二)重労働者(三)最重労働者(四)小児(六歳以下)(五)児童
 (六~十四歳)の五種別として農産食料大臣は四週間を一期としてこの内、需要調査によつて

所謂食料切替法によつて全国に亘り食料切替制が示され、食料に生活必需品の量が固定されこれに對し整然たる供給を行つてゐる。この食料切替制度の特長は、固定したものでなく四週目毎に買物の必要量に應じて増減してゐるから過不足がなく、一切の食料品は農業食料大庫の發行する切替券買券と引換なしには入手出来ないで、買物もとか買物もとか買物を目的とした生活必需品の買物券はドイツには一切ないのである。

衣服等は年齢別に五等に分け必要量を供給してをり何等の不自由はな、程完全の肉體養育が實施されてゐる。



沼地の開発

筑前国には、延々十里四方にわたる大沼地が利用してゐる。この沼地はかつてゲルマン人がローマ人の侵入を阻止した防壁でもあつた。動力車土留は従来の如く保岸も全然無視してこの沼地の開拓をはかり凡ゆる科學的排水法を使用して遂に深さ數十に及びこの泥土を變じて豐饒なる沃土となし、國民の食料を保護する事に成功した。

收穫祭

農作物の收穫を感謝し、全體が農民と食料とに對する感謝の祈りを捧げる「收穫祭」は農相ドクトル・ダレーを先頭に全國に於て大々的に祭典が行はれ、この日ヒットラーも農村に行つて共に感謝の祈りを捧げる。

眞貴族主義

一粒の粟といへども化學作用では出来ない、それは如何に精密な化學工場でも解するに不可能事である。種子を蒔き秋刈りとするまでの農夫の改々暨々たる勞働こそ國の食料政策の基礎的要素である。ナチスドイツの全體主義國家的農業政策は從來無き所採取され、農家のどん底に達してゐる農民の農地を保護し、生産物は適正なる價格に依つて買ひ取られ土地及び農産物は投票の對象としてでなく完全に生産資料として保護され絶大なる農業生産物の増加を見た。隨く農民こそ眞貴族主義の象徴として尊厳し、その榮譽を回復されてゐるのだ。

K. D. Fの余暇善用

労働者に十分な休養を興へると共に労働後の余暇を善用して地位の向上を計り、スポーツ設備を設け、又凡ゆる藝術に親れしめる事に依つて生の喜びを興へると同時に明日への十分な労働力を起さしめてゐる。

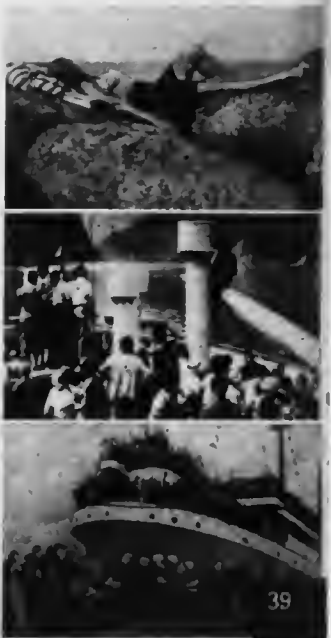
過去の藝術は少数教育有識者の獨占物であつたがK. D. Fはこの點を考慮し第一流藝術家の手に依つて製作された美術、音楽、劇、映画等の凡ゆる施設を無料又は低廉なる入場料を以て開放した。

土、日の二日靜は全くこれ等の人々で藝術の殿堂は滿されてゐる。更に各工場内に於ても音楽、劇等を労働者自らが行ひ余暇消費會を組織してゐる。かうした結果は労働者の教養を高めることになり、従つて生産品の向上となつて現れ、又労働力の意欲と云ふ事に依つて生産能力の増加となつて現れた。



K. D. Fの休暇と旅行

内地域外の觀光旅行は從來凡て貴族が資本家階級の獨占で労働者などの一生重寶にも見ることの出来なかつた慣れであつた。だがナチス治下のドイツでは働く者は凡て空閒に實地内に旅行が往來てこれらを大自然に親れさせてゐる。フランス國境、ポーランド國境、バルカン方面の國境に旅行させ現地風景に習せられてゐる。労働者に慰安をあたへるとともに觀光、見學旅行によつて心機一轉の興行を興へ民族國家の理想を自覺させるためグストロープ號(28,000トン)など巨船を利用し等級なしでK. D. F旅行團を乗せてノルウエーのフィヨルド(峡灣)などを見物させてゐる。

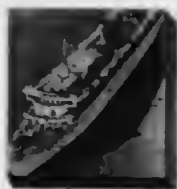




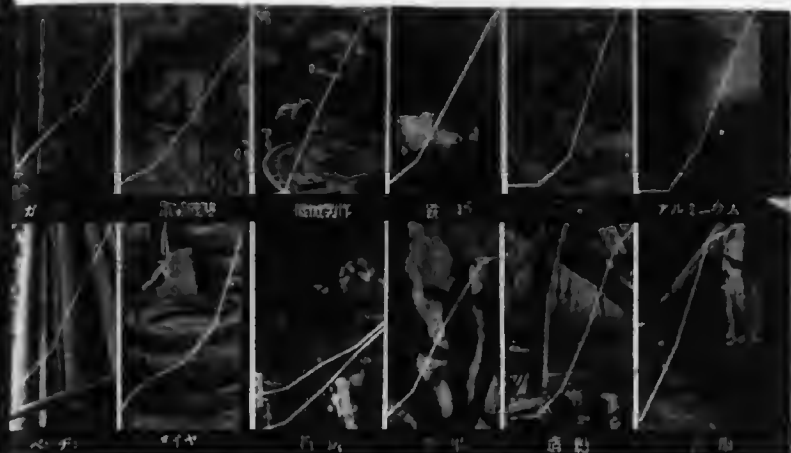
K. D. F 歡喜力行團

歡喜力行＝「力は喜びから」は愛国者の
“Kraft durch Freude” の訳語で
ある。

「歡け歡け」の掛け聲によつて、かつて労働者を
搾取した者は國に「働かざる」資本家であつた。
ここに自由主義経済の誤りの大きな誤りがあつた。
國民の力は必ずしも金や知識の中からではなく勞
働者から「働くこと」の喜びを體驗したとき
にはじめて生れる。そしてこの體驗は労働者が
「一切の労働はドイツ國民全部に對する奉仕であ
る」といふ信念に貫かれる時に可能である。この理
念をもつて國家の統制下に設立された「K. D. F」
團は労働者に十分なる休養を與へ余暇を利用して
音楽、美術、スポーツ、旅行等によつて彼らの情
懷を喜び以て國家奉獻に全力を擧げてゐる。



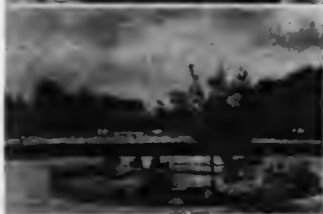
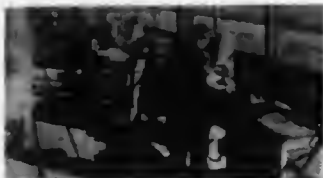
グストロープ號……28,000トン。K. D. F事業團
は旅行のためにかかる巨額を八艘も持つてゐる。



ドイツ産業の飛躍的進展

一九三三年(昭和八年)ナチス政權獲得以後僅か數ヶ年間にドイツの各生産國內を通じてこの表に示されてゐるやうに飛躍的進歩を遂げた(ここに掲ぐるものはオーストリー及チエコスロバキアの合併以前のものである) 爾後デンマーク、ノルウェー、オランダ、ベルギー、北獨逸、占領地の豐富な資源を獲得してゐる今日ドイツ將來の生産の擴大は吾人の想像を絶するものがあるであらう、各生産國內の組織を改革して勤勞奉仕の眞精神をもつて全従業員が一丸となり能力如何に偉大な生産力を發揚させる事が出来るかを我々は懸念せねばならぬ。





K. D. Fの職場美化

職場の美化は直に労働能率の向上を意味する。ドイツは
 一ヶ年二週マークを假して作業場、食堂、陸軍、商業系、
 運動場、休憩室の美化設備設備を行ひ、校風を完全に
 し清潔な環境を創し、まるで富麗の別荘を敷きせるなや
 うな氣持の良、職場を作りつつある。政府、工場労働
 部、従業員から選出組織された職場美化委員会が美化運
 動に全力を注ぎ、年数回にわたり各職場を視察し必要な
 改善を行つてゐる。

世界厚生會議

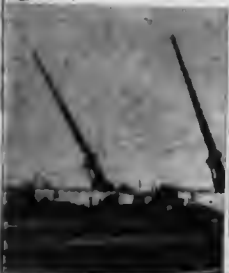
ナチス政府は毎年一回ハンブルグに於て一ヶ月に亘り
 世界各國の民族代表を招致して厚生會議を開催する。
 この會議は全世界の民族が各々自國の獨特な特長を
 展覧をこらして参加する。第一次世界大戰當時英國の
 宣傳機關はドイツ民族を好戰的な軍國主義的な野蠻さ
 はまる侮蔑と宣傳し世界平和と人類の幸福を破壊す
 る人種の蠱惑といふ烙印を押した。ヒトラーが教
 壇を降壇するや世界各處民族が立して敵愾心を消滅
 して調停することは相互に民族の融和の機會がなかつ
 たからであるとし厚生會議を開催し民族協同の指導
 原理に基きユダヤ民族を除く各民族の特性を尊重し
 て交歓を行ひドイツ國內を觀光させナチスの誇るあら
 ゆる文化施設を紹介することになった。こんな方法で
 ドイツ國內の真相を知らせるとともに各民族は民族一
 體となりユダヤ、フリーメーソンの陰謀によりて離散
 と民族の闘争を撲滅して復活してゆくであらう西歐を
 民族協同の理想に統合し手を取り合つて西歐の新秩
 序を建設せんとするものである。

今次大戦 用いせる新兵器



大口徑榴弾砲

今次大戦に初めて現れた大口徑榴弾砲、マジノ線攻撃に活躍した新兵器の一つ

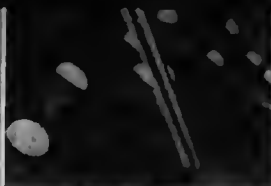


長距離榴弾砲

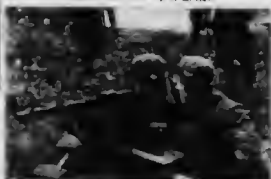


戦車重砲

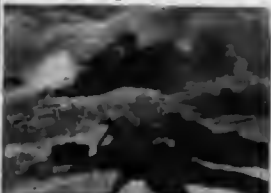
口径 200mm 砲身 約17m
戦大戦に用いたベルタ砲を改良したもの



敵陣に迫る落下傘部隊



敵陣に落下し攻撃に移らんとする落下傘部隊



中型タンク



火砲並射機



大型快速船(ヒボート)

90トン 時速—60里
武装 魚雷發射管—2
高角砲 何れも
機 銃 17乃至2



新鋭ハインケル・He 113 偵察機



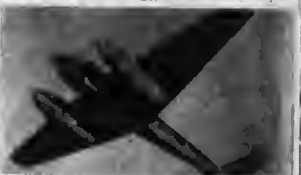
メッサーシュミット・Me 109

単座戦闘機
乗員—1名 最大速度—570km時
武装—機関銃4
射撃距離—1,000m



ハインケル・He 111K 爆撃機

乗員—4名 最大速度—440km時
武装—機関銃—3 爆弾—250kg 8個



メッサーシュミット・Me 110

戦闘機
乗員—2名 最大速度 585km時
武装—カノン砲—2挺 機 銃—4
射撃距離—2,750m



ユンカース・JU 87 俯衝爆撃機

乗員—2名 最大速度—300km時
武装 機関銃—2
爆 弾—700kg

再建より飛躍へ

斯くて國家總力戰體制は茲に充實を
見、ドイツ再建は成る、而して一九三
九年九月三日獨對英佛開戦の火蓋が
切つて落されるや電撃又電撃、翌一九
四〇年六月二十二日完全に佛國を屈
伏せしめ、休戦ラッパ鳴る、しかして
今や一轉、獨英歐洲爭覇の世紀の決戦
は展開されんとしてゐる。

宣傳中隊の大活躍

Die Propaganda-Kompagnie

略稱 P. K 隊

A編成 (1) 戦時方眼に直屬す、必要に應じ陸海空諸軍に配属 (2) 成員 軍人としての訓練を受けた優秀な新聞記者カメラマンその他、諸外國語精通者、文學者等あらゆる報道陣をここに統一す(各新聞社より従軍記者を派遣せず)

B職務(活動) (1) 軍人として戦場に参加 (2) 報道人として要甲中、飛行機に分乗、陸上、海上、空中より第一線の戦況を撮影記録す(落下傘部隊と共に降下して撮影を行ふ) (3) 宣傳班として (イ) 要甲車備附のマイクロホン(三里の遠方まで聞きとれる)を通じ包圍せし敵に對し抵抗の無意味を説き戦意を消滅せしめる等 (ロ) 戦場の寫真記録は Der Adler の如き僅々二十パーニツヒの雑誌として發行 (ハ) 占領地では Signal 其他他報、英語等の各外國語版を發行し宣傳に利用

C報道の方法及びその効果 (1) 有線の電報により時々刻々ベルリンに通報 (2) 自動吹込機に吹込む(彈丸雨の中での有線電報の利用不可能なとき) (3) 現地撮影、現地の壯ましい印象記 (4) 戦場ニュース映畫は Wochenschau と稱し毎週作製、その中優秀なるものは演出整理し加筆の生ける歴史として永遠に保存、眞實なる實感的歴史

※以上はすべてベルリンに集め整理され然るべきものは録音され、戦場の雰囲気や戦後を再現し、かくして戦場と戦後との密接な結合を可能ならしむ。尚一切の資料は廣く海外の同盟にも傳へられ敵性國家の宣傳戦を封ずる。

※吾人は現在戦下の情勢に當り戦後の國民の教育を促進し又歴史的な事件をスクリーンに再現して從來のともすれば無味乾燥な歴史教育を大いに補足する意圖に於て我國にもかかる制度のすみやかに實現されんことを切望する。





戦線背後勤勞奉仕隊の活躍!!

ドイツ勤勞奉仕隊ヒールは去る六月二十六日フデオを通じて次の放送を行った。この要旨のみを左に摘すると「今次大戦に於ては勤勞奉仕を完了後軍務につき戦線に活動せる者數に二百五十万、彼等の戰力力は断然他の列國の軍人の比ではない、勤勞奉仕なる國民當道道徳の恩恵に大なるものあるを察せしめる、彼等はすでに二十年前に歐洲の戰歴に於ける情勢を察知して大準備をなしてジークフリート要塞の構築に全力をそそぎ同要塞の超スピードの完成は實に彼等に負ふこと大なるものがある、今次大戦の勃發するや指麾を容れざる間に實に五百五十の戦線背後勤勞奉仕隊をポーランド戰線に派遣し軍の行動を直接間接に援助したる功績は莫大である、又ジークフリート要塞構築及びその防禦方陣地の補修工事に従事せる勤勞奉仕隊數は三百を越えてゐた、ヒットラー總帥は戰事最中と雖も國內に於て青年の勤勞奉仕は依然として進行すべき事を命令したるが勤勞奉仕隊の指導者の60%は軍人として應召した。

従つて指導者數の缺乏を見たが實にその補充は下級指導者を以てあてられ何等の支障を來さざりしは平素に於ける青少年の訓練よろしきを得た結果である。……

彼等勤勞奉仕隊員中特殊な能力あるものは砲「建設隊」「飛行基地の地上勤務員」「砲兵隊」「土工築部隊」「潜水部隊」等を組織し工兵隊、飛行隊及び砲兵隊の行動を援助せる功績は實に想像以上であつた。戦線背後に於て女子勤勞奉仕隊をも戰争の用に於てことに決し直ちに各方面に派遣せるにその活動力は平時の彼等の活動能率の三倍以上に及んだ、國內には二千以上の女子勤勞奉仕隊宿舎所が分散されてあり、應召軍人の家庭の援助に万端なきを期した。

同各種の社會的文化的事業にも參與し戰時の活動を活動ならしめた功績は誠に驚嘆すべきものがある。平時國內に活動してゐた三十万乃至四十万の勤勞奉仕隊を主體となし「戦線背後勤勞奉仕隊」を組織されてゐる。同隊は戰線の移動に應じて自動車、飛行機等によつて戦線背後に向つて輸送される。同隊（戦線背後勤勞奉仕隊）は「食糧者の運搬」「食糧糧食の補充」「食糧の配給管理」「物資收容」「占領地の交通管理」「官民工作」「飛行機、タンク等の武器輸送」等あらゆる方面の任務を受持つてゐる。かくの如き活動はアルバイツ・ディーンスト本来の恩恵を發揮したるものと云へよう。青年は血に彩られた戦線の活きた歴史に直面して困窮缺乏に堪へると共に相互扶助の美徳を身を以て體得する。又國內に殘留する勤勞奉仕隊は一時的に人數の不足を告げるが併しポーランド軍や英・佛軍の捕虜數百萬を以てその不足數を補ひ老練なる指導者が彼等を指導して勞務に服せしめ食料面から之によつて確保された。

幕進ドイツの車輪に聴く

6 新經濟體制の樹立

今や經濟の體制もも新時代獨特の動向が現はれた。「金」が世界の經濟を支配した事實は實に一場の過去の夢と化し、これに代つて新しい體光を浴びて國際經濟關係に露り出ようとするものは「勞働」を本位とする新マルク制である。

また從來の無秩序な自由主義的社會主義を清算して戰後體制を確立しこれを各「經濟團體」「個人」および「國」と結合する紐帶たらしめ國家經濟體制を確立した。

7 偏智教育の一掃

從來のやうに知識偏重的教育により所謂「潔白なインテリ」を養成する教育方針を根本的に改め、實質にして知識しかも勞を滿ちたる對等的人物を育成し、かつ體操に系統的な基礎訓練を施した結果、國民の活動力は從來に比し數量的に増大した。生産各部門の異常なる能率増進及び國力力の驚異的増進は實に右の教育に由來することを度外視してはならぬ。

8 技術家の重用

あらゆる生産部門における指導者は、たとへ無名なりとも最も有能にして國家の根本精神を正確に把握せる技術方面よりの人物を採用し、産業の合理的発展に邁進してゐる。

9 反社會分子の矯正的排除

ゲシュタポの精かしい活動と相俟つて社會生活の秩序力に危殆を加へること圖りなりと認めらるる犯罪傾向ある一切の人々を集中して保護し、訓育を施さんとする「集團矯正教化所」はドイツ警察の視察を研究する上において無視出来ない制度である。かのG・I・Uとは本質を異にするこの「集團矯正教化所」は實質なる社會の健康なる發展に對して許すべからざる人々を社會と遮断し集中抑留して惡習の流通を斷つと共に社會生活の消毒所としてドイツ國家の健康性を養ふ上に大きな役割を果して來たのである。

10 優良なる青年人士を重用してゐる

戰野を通じて指導的地位に立つ者の最大部分は偶忽に思ひ從に消滅進退せざる若き人物であることは現時の世界史學界に警覺して議論の大飛躍を遂げた一大原因となつてゐることは無疑出來ない。されど優れた體格と才能を有する青年的勇氣ある老練者は従に過去の青年時代に拘泥して顧視せざらぬ。これは「公正實力本位主義」に反するからである。

慕進ドイツの車輪に聴く

1 「民族協同體」の理念の確立

ナチス獨逸は民族協同體なる世界觀を單に抽象的な觀念に止めず、之を以て獨逸國民の實生活の中に浸透する不動の信念とし全組織を通じて具體的に現れし以てその効果を完全に發揮した。この理念こそは現在のドイツの總ての制度機構を決定し運轉する原動力である。即ち公分的な理念である。

2 相対摩擦なき國內諸機構の建設

「民族協同體」は完全なる三位一體に構成されてヒットラー總裁の統率下に立つてゐる。ヒットラーは獨裁力と執行能力を併つた強力を以て内外の事業に主導して不败の碑を樹いた。國民は皆つて實を働いて果敢に責任を負ひ國民は協同に協力して大ドイツ建設の一路を邁進してゐる。

3 徹底した「公正實力本位主義」の確立

Das Leistungsprinzip

「公正實力本位主義」はドイツ語のDas Leistungsprinzipの意である。その意味を次に説明する。

民族を構成する各分子は國民としての眞實な心算へを持たなければならぬ。卓越せる實力を有してゐても反つて社會を害する分子となる。ナチス民族協同體の理想と信念に燃えてゐる人物として自他ともに許されるか、と云ふ實力を證明する場合は公正な公平な立場からその實力を認めるといふ主義である。この主義は官吏、教師、會社員、労働者を問はず國家社會の全分野における人材登用と俸給、賃金とを決定する基礎となる根本方針である。かくて結果の如き情實や環境から来る弊害は影をひそめた。消極的には「不平」から生れる能率低下を防ぎ積極的には欣々として自己の能力に挑戦する希望を實現し能率を増進する結果となつた。

4 ブレーントラストの結成

眞實なる學者と經驗に富んだ實業家の等層を一團して結合され完備した多くの研究室において活潑にその所産を經營の各分野において實際に採用せしめ、經營、時間および人的資源の無駄を一掃した。

5 勤勞精神の昂揚

普通の學校教育のほかに「ヒットラー青年團」「勤勞事仕風」等の組織を通じて全國的に勤勞を自ら稱揚を喚起し、なほ「勤勞電報」の傳播中にある「敬意力行(K.D.F.)團」の活動により精神的肉體的勞務に服する人々の間に自動自發的行動を擧げたため全國民の生産能率を飛躍的に向上せしめ國內の實業が發展の基を固めた。

進歩ドイツの車輪に聴く

6 新經濟建制的樹立

今や經濟の領域にも新經濟で舊經濟の動向が明瞭なれた。「金」が世界の經濟を支配した事實は舊で一場の過客の場と化し、これに代つて新しい曙光を浴びて新經濟の領域に躍り出ようとするものは「勞働」を本位とする新マルク制である。また舊來の無政府の自由主義的社會主義を清算して新經濟で秩序を樹立しこれを各「經濟團體」個人および「國」と結合する新制たらしめ國家經濟建制を樹立した。

7 僑智教育の一掃

舊來のやうに凡庸偏狹的教育による「愚白なインテリ」を養成する教育方針を根本的に改め、眞實にして實業に資する實業家たる野性的人物を育成し、かつ僑智に對する偏狹的知識を掃蕩し、國民の生活に對する正確無比の知識を増大した。生産活動の中心に實業家を置き、實業家が實業に實に右の教育に庄敬することを奨励してゐる。

8 技術者の重用

あらゆる生産活動に對する技術者の、たとへば著名なりとも餘り重視して舊來の根本精神を損傷する虞を、この國は、これを採用し産業の生産力に直接に貢獻してゐる。

9 反社會分子の徹底的排除

ゲシュタポの機敏しい活動と相づつて「反社會分子」に危害を加へること簡單なりと認めらるる果敢の行動ある一國の人々を集中して保護し、教育を施さんとする「國家的再教育施設所」はドイツの特色を研究する上において無視出来ない制度である。かのG・I・Uといふ國に對するこの「國家的再教育施設所」は健康なる社會の健康なる發展に對して許すべからざる人々を社會と隔離し集中押留して思想の流通を斷つと共に社會生活の清淨所としてドイツ國家の純潔性を養ふ上に大きな役割を果して來たのである。

10 優良なる青壯年人士を重用してゐる

戰野を通じて指揮的地位に立つ者の最大部分は舊型に思へば従来に適應せざる若い人物であることは現時の世界經濟發展に際して諸國の大先輩を驚かした一大原因となつてゐることは無視出来ない。されど優れた體格と才能を有する青年的勇氣ある若輩者は従来に過去の青年時代に拘泥して重く重くされてゐる。これは「公正實力本位主義」に反するからである。

進ドイツの車輪に聴く

1. 1945-1947年の理念の確立

る世界を第一の目的とし、之を以て實現する爲め、必要とする不敗の信念とし全人類を通じて眞理に燃れ、以て奮起した。この理想こそは現在のドイツのすべての創造精神を快く受け入れ、更に公分體の理想である。

2 相対座標なき国内諸機構の建設

「日本の近衛首相」は完全なる三位一體としてヒトラーの威光の下に立つてゐる。ヒトラーの強大な権力と権威を以て内外の事柄に全權して不遜の權を成す。國民はヒトラーの威光の下に東京に集り國民は威光に協力してドイツの威光に協力する。

3 徹底した「人」の本位主義の確立

Das Leistungsprinzip (功績主義) はドイツの社会政策の中心である。その
 国民は「責任と権利を有する」市民として、国家の発展に直接参
 与する實力を有し、その實力を国家の発展に貢献する。ナチズムの政治理想
 と信念に感服して、この社会政策を「社会政策の根本」と見做すとき實力を統制する機
 会は公正な競争力と、その競争力に基いて決定する。この主眼は官吏、
 教師、政治家、労働者を「社会政策の根本」と見做す。人材登用と解雇、賃金
 とを決定する基礎となる根本の計である。この根本の間に情實や感情から来る
 弊害を排して、合理的には「社会政策の根本」を排して、合理的には
 排除として自己の身分に相応する「社会政策の根本」を排して、合理的には

4 ブレーントラストの

数少ない學者と協同して日本人の調査資料を整理して統合され完成した多くの研究によって医局とその所産を視野の各分野において効果的に利用せしめ、更に、研究および人的資源の集中を一掃した。

5 勤労精神の奨励

富強の夢を抱くばかりに「ヒットラー青年團」「ナチ青年団」等の組織を設けて、全国に活動の場を求めた。なかには「労働青年団」の組織中にある「国家力行(K.D.F.)」の活動により精神的・肉体的な苦勞に耐える人々の間に自己融合の精神を樹立したため全国民の生産基準を平均化し向上せしめ国内の富強が望めるまで求めた。



昭和十五年九月廿八日 印刷
昭和十五年十月三日 發行

定價二十錢

大阪毎日新聞社編

大阪市北區堂島上二丁目三六

發行所 大阪毎日新聞社

勃興ドイツの全貌
不許複製

大阪市北區堂島上二丁目三六

印刷者 株式会社大阪毎日新聞社

大阪市北區堂島上二丁目三六

發行所 大阪毎日新聞社

東京市墨田區有明一丁目一一

同 東京日日新聞社

特243

794

定價20錢

大阪毎日新聞社・東京日日新聞社